



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会

2023 年度事業報告

(2023 年 1 月 1 日~12 月 31 日)

私たちの生活に大きな不安と制約をもたらした新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが引き下げられたことを契機に人や街の様相はさらに一段階変化した。地域の祭事や大規模イベントも再開し、マスクをしない外出が日常化し、徐々に対面での会議や催しも増加してきた。ボランティア活動の周辺を見ても、休止していた活動を再開したり、途切れていたつながりを紡ぎ直したり、あらためて活動者の受け入れを検討したりと、本格的に人々の気持ちも身体も動き始めた印象があった。

コロナ禍で獲得したオンラインツールは、私たち JVCA の事業展開を支える大きな力となり、この一年、さまざまな活動の場面で活用してきた。研修・講座の開催においてはオンライン開催が常態化し、今後も継続すべきとする確信を得た。一方、対面でのリアルな対話や交流が減少したことで、新たな出会いや奥深いコミュニケーションを期待する会員等のニーズには十分に答えきれておらず、目的や対象にかんがみた適切な集いの形を模索しながら進めた1年であった。

財政面では、当初から赤字予算を組まざるを得ない厳しい状況であったが、結果的にも赤字の幅はほとんど改善できず、その要因として助成金が獲得できなかったこととともに、会員の減少と会費納入率の低さが影響した。支援性財源の減少は運動性のある事業展開を弱めることにつながりかねず、財源確保と支援者拡大という両面からの対策に課題を残した。

以下、重点とした取り組みについて、その成果と課題を記す。 ※下線 _____ は事業計画

重点 1 ボランティアコーディネーションの社会的認知を進めるための事業拡大（普及啓発、情報発信活動の強化を含む）

○全国の幅広い地域、分野での検定開催を一層進めるために、オンラインも活用しボランティアコーディネーション力検定3級の共催団体を確保する。

→目標の6回を達成し、このほかに新たな試みとして1団体と研修のみを共催した。オンライン活用については研修動画を事前にオンデマンド視聴し、試験のみ会場で受験する方式で実施し、開催地の理事・運営委員の協力を得て主催検定の会場も拡大できた。

○ボランティアコーディネーション力検定を活用する組織を広げる。

→社会福祉協議会や公共施設などにおいて担当職員の受験を研修の一環としたり、大学では受験を希望する学生に対して補助をしたりする動きがあった。公の施設等の指定管理者（企業）でボランティアに関連した業務を担う社員の3級受験を必須とするケースも見られ、検定を人材育成の一環として活用する組織が増加した。

○ボランティアおよびボランティアコーディネーションに関する正しい理解や知識を社会に広げるため、動画やパンフレット等を活用した情報発信や提言等を行う。

→動画作成チームにより、新任のボランティアコーディネーター向けにボランティアをわかりやすく理解してもらうための動画の作成が進められ、2024年度の早い時期に公開予定である。また、報道アクションチームによるマスコミ向けの冊子については12月の理事会で承認され、体裁や文体を遂行する段階となった。いずれも今期においては情報発信には至らなかったが、発信する手前の段階まで進捗した。

○ボランティアコーディネーション実践のグッドプラクティスを収集し、発信する。

→1、2級検定合格者に呼びかけて「事例から深める！ボランティアコーディネーション研究会」（発起人：[REDACTED]）を企画し、グッドプラクティスの発掘も視野に入れたピアサポート型の取り組みが始まった。2023年度は第1弾を7・8月、第2弾を11・12月に、それぞれ3回ずつ開催。第1弾は2日で定員を超える反響があり、ニーズの高さがうかがわれた。グッドプラクティスの公募についてはWEBサイト上では常時行っているものの応募はなく、主催講座やJVCCなどの場で紹介された事例をボランティアコーディネーションの視点からグッドプラクティスとして再整理し、紹介していく方向も模索したい。

重点2 ボランティアコーディネーション力を高めるための多様な研修機会の提供

○研修体系に基づき、実務者を対象とした研修を充実させ計画的に実施する。

→計画通り3回の実務研修の開催し、定員を超える参加者を得られた。オンラインによる開催により遠方からの申込も多く、3回通しての参加も見られた。参加者層としては比較的実務経験の浅い方が目立ったが、あらためてボランティアを学ぶテーマにはかなりのベテランも参加され、学び直しと確認したいニーズがあることが実感できた。

○研修メニューをリニューアルし、オンラインも活用した多様な分野で活動するコーディネーター向けの研修を充実させる。

→タスクチームを結成してWEBサイトの研修メニューページの見直しを行い、6月下旬より新しいページへ移行した。これまでの掲載例はボランティアコーディネーター対象の研修として紹介してきたが、新しいページではここ数年の研修依頼内容から抽出したトレンドや、受講される方の悩みや困りごとに沿った開催例を示し、幅広いコーディネーターに対応できる研修を提案した。

重点3 多様な領域で活動するコーディネーターのネットワークの構築

○対面の機会とオンラインの活用により、コーディネーター・会員同士の交流を促進させる企画を催す。

→運営委員会においては、この間、有志の呼びかけにより会場に集まった開催はあるものの、フォーマルには対面型の会議は開催してこなかった。今年度は理事・運営委員合同合宿をはじめ、年内に1回ずつ東京及び大阪に会場を設定し、3年半ぶりに対面を基本にした（オンライン参加もあり）委員会を実施した。地域プロモーション委員会によるCoCoサロン開催の促進や支援も継続して行われた。また、WEB委員会によるオンラインツールサロンが会員を対象に開催され、小規模ながら会員の悩みに応えるテーマ型の企画が始まった。

○「市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会（JVCC）」の今後の開催方法について検討する。

→2021及び2022（2月）は完全オンライン、2022（12月）には対面、ハイブリッド、オンラインを組み合わせ開催した経験をふまえ、2024では開催地域を東京に置き、基本的に対面方式に戻しつつ、オンラインのメリットも採り入れた開催形態にした。オンラインという選択があるなかで遠方からの出張が認められにくい事情もあると聞かすが、オンラインになって決定的に弱まっている交流とつながりづくりの要素を取り戻す必要があり、2024年2月の研究集会はその第一歩である。開催後にはその評価をしっかりと行いたい。

推進体制 組織・財政基盤強化のための組織のあり方検討

○第5期中期ビジョン策定検討チーム（仮称）を立ち上げ、JVCAの将来像を見据え、これからの事業及び組織・運営体制（財政、理事・運営委員の活動内容、事務局のあり方等）について検討する。

→若手の理事・運営委員の手挙げ方式で第5期中期ビジョン策定タスクチームが結成され、コロナ禍を経た社会環境の変化および既存の社会調査等を分析して、次期ビジョンの重点になりそうなトピックやテーマを抽出した。

○エリアメイトに加え、会員の参加のバリエーションや機会を広げる。

→地域プロモーション委員会がエリアメイトの募集を行い、希望者へのオリエンテーションを行った。一昨年末から始まった会員会談番組「旅するJVCA」は第6～8弾が作成され、YouTubeの公式ページから配信した。

1 事業の推進

(1) 多様なコーディネーション実践に携わる人たちを対象とする全国集会の開催

(事業費：586千円／従事者数：有給スタッフ3人・ボランティア38人)

①「市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会2022」の評価

独立行政法人福祉医療機構からの助成金を得て、2022年12月17日(土)～18日(日)に開催した標記集会の成果を振り返った。

1月24日(火)には集会参加者にも呼び掛けて、「ステップアップ・ミーティング」と位置づけて振り返りの場を開催した。さらに最終実行委員会においては、初めてオンライン形式と対面形式を組み合わせたことによるメリット・デメリットなどを具体的に評価した。

<ミーティング・実行委員会開催状況>

回	開催日	形態	人数
事務局ミーティング	1月20日(金)	オンライン	—
ステップアップ・ミーティング 【参加者公開企画】	1月24日(火)	オンライン	33人
第12回	2月2日(木)	オンライン	27人

②「市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会2024」の企画

前回と同様の名称で2024年2月23日(金・祝)-24日(土)に開催することを決定した。4月の準備会において実行委員の人選を行い、新任者へのオリエンテーションを経て、6月には実行委員会を始動させた。第1回の実行委員会では [] を実行委員長に互選した。今後は月1回程度の委員会において集会のフレームや開催方法について協議し、11月中旬までには全体のプログラムを固めた。

<実行委員会開催状況>

回	開催日	形態	人数
準備会	4月24日(月)	オンライン	—
オリエンテーション	5月27日(土)	オンライン	17人
第1回	6月17日(土)	飯田橋セントラルプラザ & オンライン	28人
第2回	7月10日(月)	オンライン	29人
第3回	8月6日(日)	オンライン	27人
事務局チームミーティング①	8月16日(水)	オンライン	—
第4回	9月2日(土)	飯田橋セントラルプラザ & オンライン	35人

第5回	10月1日(日)	オンライン	29人
第6回	10月29日(日)	オンライン	26人
事務局チームミーティング②	11月3日(金・祝)	オンライン	—
第7回	11月7日(火)	オンライン	35人
事務局チームミーティング③	11月15日(水)	オンライン	—
第8回	11月20日(月)	オンライン	38人
第9回	12月9日(日)	飯田橋セントラルプラザ & オンライン	27人
事務局チームミーティング④	12月23日(土)	オンライン	—

③「市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会(仮)2025」の開催地検討
2025年度の研究集会の開催地の検討するための会議を開催した。2020の東京開催以降、コロナによるオンライン中心に開催となり、2024は東京開催としたため、その次は関西での開催ができないかを検討するために関西の理事・運営委員等に呼びかけての話し合いの場を設けた。

開催日	形態	人数
8月28日(月)	オンライン	9人

(2) 研修の開催および研修企画の支援

(事業費：3,506千円/従事者数：有給スタッフ3人・ボランティア36人)

- ①ボランティアコーディネーションカ1級検定直前研修の開催 計画1回(オンライン)
- ②ボランティアコーディネーションカ2級検定直前研修の開催 計画2回(東京・大阪)
- ③ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の開催 計画2回+動画視聴
- ④ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の共催 計画6回

→※①～④は(3)で報告する

⑤各種研修セミナーの開催

・実務研修「コーディネーションの知識とスキルを高める」の開催

(計画3回/実施3回：オンライン)

回	研修名	開催日	講師	人数
第1回	いまさら聞けない、基本を学び直したい コーディネーターへ～“ボランティア” この魅力的でややこしいもの～	10月3日(火)		17人
第2回	地域と大学生がともに輝くコーディネーション～意外に知らない いまどきの若者事情～	10月24日(火)		20人

第3回	ボランティアプログラムの設計と発信の実務～あなたが届けたいボランティア活動ってなに？どう発信する？～	11月 8日 (水)		18人

・初任者向け：ボランティアコーディネーター基礎研修の開催

(計画2回：東京・大阪 / 実施2回：オンライン・大阪会場@エルおおさか)

No	研修名	開催日	講師	人数
1	新任ボランティアコーディネーター基礎研修	8月29日 (火)		44人
2	共催：大阪ボランティア協会	9月23日 (土・祝)		23人

・初任者向けe動画講義（富士通ラーニングメディアとの提携）の普及

出荷実績：ボランティアとコーディネート理解 32件

ボランティア受け入れのマネジメント 14件

⑥大学ボランティアセンター職員セミナー2023の開催

(計画 基礎1回：実践1回／実施 基礎1回：オンライン)

テーマ：私たちは“ボランティア”をなぜ推すか、どう押すか？

No	内容	開催日	講師	人数
1	基礎セミナー	9月7日 (木)		29人
			拠点紹介 (動画)	
2	実践セミナー <全体会> <分科会> 1 ボランティアの初めの一步～長靴からサンダルにはきかえてもらおう その一手～ 2 2歩目・3歩目へ共に歩もう！～次のステップへのコーディネート～ 3 学生スタッフとの距離感を考える～活動から人生相談まで～ 4 「今、こんなことで困ってます、戸惑ってます」新任コーディネーターのためのなんでも相談会	9月8日 (金)		51人

<実行委員名簿>

◎委員長

NO	氏名	所属
1		
2		コミュニティコラボレーションセンター
3		ボランティア活動支援センター
4		ボランティア活動支援センター-ヒューマン・サービス支援室
5		ボランティアセンター
6		ボランティア・NPO 活動センター
7		ボランティアセンター

・委員会開催実績

回	開催日	形態
第1回	2月28日(火)	オンライン
第2回	4月4日(火)	オンライン
第3回	5月9日(火)	オンライン
第4回	6月27日(火)	オンライン
第5回	8月22日(火)	オンライン
第6回	9月27日(水)	オンライン

⑦オンライン対談シリーズの開催

・「ボランティアコーディネーター全員集合」(計画2回 / 実施3回:オンライン)

回	内容	開催日	話し手/聞き手	人数
第1回	シン・ボラセン~いまこそ発信したい「シン」の意味~	1月11日(水)		19人
第2回	ボランティア活動を“その場限り”にしないボランティアコーディネーションとは?	2月16日(木)		19人
第3回	“本当の主役はいない”けれど、「みんなが主役の共生のまちづくり」とは!?	12月18日(月)		22人

<ボランティアコーディネーター全員集合企画チーム>

・チームミーティング実績

回	開催日	形態
第1回	9月7日(木)	オンライン
第2回	10月11日(水)	オンライン

⑧研修への講師派遣と講座等の企画支援

- ・研修への講師派遣を希望する団体に対し、開催の目的やねらい、テーマ等を調整したうえで、JVCA の理事・運営委員等を派遣した。

派遣 65 件 研修日数 81 日 / 派遣講師 15 人 (実人数)

- ・講師派遣先を開拓するために講師派遣事業についての案内チラシを関係機関に送付した。(検定周知の際に同封)。
- ・WEB サイトの掲載情報「講師リスト」を更新するとともに、研修メニューリニューアルチームにより、「研修メニュー (開催例)」をボランティアコーディネーター対象研修にとどまらない、地域のボランティア活動活性化や多様なコーディネーションを普及するための研修項目にリニューアルし、6月から新バージョンで掲載した。ホームページを見て相談をしてくる団体も徐々にだが増えている。

<研修メニューリニューアルチーム>

- ・チームミーティング実績

回	開催日	形態
第1回	3月5日(日)	オンライン
第2回	4月1日(土)	オンライン
第3回	5月23日(火)	オンライン
第4回	6月19日(月)	オンライン

⑨ボランティアコーディネーターに役立つ動画の企画と作成、配信

- 動画作成チームにより、新任ボランティアコーディネーターを主たるターゲットに、ボランティアについての理解を深める動画作成に着手し、音声収録までを終えた。

<動画作成チーム>

- ・チームミーティング実績

回	開催日	形態
第1回	4月12日(水)	オンライン
第2回	4月25日(火)	オンライン
第3回	5月10日(水)	オンライン
第4回	5月26日(金)	オンライン
第5回	6月6日(火)	オンライン
第6回	6月12日(月)	オンライン
第7回	6月30日(金)	オンライン
第8回	9月13日(水)	オンライン

(3) ボランティアコーディネーションカ検定の実施

(事業費：7,780 千円/従事者数：有給スタッフ3人・ボランティア24人)

①ボランティアコーディネーションカ1級検定試験の実施 (計画1回/実施1回)

第1回 (通算第11回) ボランティアコーディネーションカ1級検定の直前研修および試験を事前動画視聴とオンラインを組み合わせ実施した。

開催地・会場	開催日	講師・メンター、試験監督	受験者
直前研修：講義 (動画視聴)	7月31日(月)～ ※オンデマンド	[Redacted]	13人
直前研修：演習 (オンライン)	8月26日(土) 8月27日(日)		13人 /修了 11人
検定試験/評価 (オンライン・ WEBフォーム)	9月10日(日)		11人

<第1回 (通算第11回) 1級検定 試験結果>

受験者数	11人	合格者数	5人	合格率	45.5%
------	-----	------	----	-----	-------

②ボランティアコーディネーションカ2級検定試験の実施

(計画2回・2か所/実施2回・2か所)

開催地・会場	開催日	講師・採点	受験者
<第1回> 通算26回 大阪会場： 大阪府社会福祉会館	講義動画視聴 9月30日(土)～	[Redacted]	19人
	直前研修 & 検定試験 10月15日(日)		
<第2回> 通算27回 東京会場： 大学生協杉並会館	講義動画視聴 11月4日(土)～	[Redacted]	30人
	直前研修 & 検定試験 11月19日(日)		

<第1・2回 2級検定 試験結果>

	大阪	東京	合計
受験者数	19人	30人	49人
合格者数	17人	24人	41人
合格率	89.5%	80.0%	83.7%

③ 3級検定試験（主催）の実施（計画2回／実施2回）

第1回（通算35回）：

開催地・会場	開催日	直前研修講師	受験者
東京会場：飯田橋セントラルプラザ <後援：東京ボランティア・市民活動センター>	7月2日 (日) 直前研修 検定試験		73人
		※オンデマンド 研修録画視聴者含む	
大阪会場：大阪府社会福祉会館 <研修共催：大阪ボランティア協会>			37人
		※オンデマンド 研修録画視聴者含む	
栃木会場：小山市市民活動センター（おやまーる） <協力：小山市市民活動センター>		オンデマンド 研修録画視聴	17人

第2回（通算37回）：

開催地・会場	開催日	直前研修講師	受験者
北九州会場：ウェルとばた	11月18日 (土) 検定試験	オンデマンド 研修録画視聴	26人

第3回（通算36回）：

開催地・会場	開催日	直前研修講師	受験者
東京会場：飯田橋セントラルプラザ <後援：東京ボランティア・市民活動センター>	12月3日 (日) 直前研修 検定試験		54人
		※オンデマンド研修視聴・ 検定試験のみを含む	
大阪会場：新大阪丸ビル別館 <研修共催：大阪ボランティア協会>			25人
		※オンデマンド研修視聴・	

		検定試験のみを含む	
岐阜会場：ハートフルスクエア-G		オンデマンド 研修視聴	23人
愛媛会場：二番町ホール（久保堂二番町ビル）		オンデマンド 研修視聴	3人

<試験結果>

	第1回			第2回	第3回				合計
	東京	大阪	栃木	北九州	東京	大阪	岐阜	愛媛	
受験者数	73人	37人	17人	26人	54人	25人	23人	3人	258人
合格者数	64人	32人	12人	25人	51人	23人	23人	3人	233人
合格率	87.7%	86.5%	70.6%	96.2%	94.4%	92.0%	100%	100%	90.3%

共催検定（計画6回／実施6回） ※その他（研修共催のみ）1回

共催団体	開催日	講師
①沖縄県社会福祉協議会	7月22日（土）	
②東京都社会福祉協議会 東京ボランティア・市民活動センター	8月26日（土）	
③東北公益文科大学	9月10日（日）	
④島根県社会福祉協議会	11月12日（日）	
⑤龍谷大学	11月18日（土）	
⑥長野県社会福祉協議会	12月15日（金）	オンデマンド研修動画視聴

<試験結果>

	①	②	③	④	⑤	⑥	合計
受験者数	16人	39人	28人	32人	31人	23人	169人
合格者数	11人	36人	26人	27人	28人	16人	144人
合格率	68.8%	92.3%	92.9%	84.4%	90.3%	69.6%	85.2%

●その他：直前研修のみ共催

共催団体	開催日	講師	受講者
いずみ市民大学 (特定非営利活動法人 SEIN)	10月7日（土）		12人
	10月14日（土）		
	11月11日（土）		
	12月2日（土）		

④ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の運営

・試験委員会を設置し、各級ごとにチームミーティングを開催し、試験問題を作成した。

<委員名簿>

◎委員長 ☆各級チームリーダー

No	委員名	所属	担当
◎ 1			総括
☆ 2			1級
3			1級
4			1級
5			1級
6			1級
7			2級
8			2級
9			2級
10			2級
☆11			2級
☆12			3級
13			3級
14			3級
15			3級
16			3級

各級（1級・2級・3級）ごとのチームミーティングの開催

<1級検定チーム>

回	開催日	形態	参加人数
第1回	9月23日(土・祝)	オンライン	4人

<2級検定チーム>

回	開催日	形態	参加人数
第1回	5月1日(月)	オンライン	4人
第2回	7月8日(土)	オンライン	5人
第3回	8月5日(土)	オンライン	5人

<3級検定チーム>

回	開催日	形態	参加人数
第1回	5月20日(土)	JVCA事務所	5人
採点	7月6日(木)	JVCA事務所	2人
採点	7月27日(木)	JVCA事務所	2人
採点	9月14日(木)	JVCA事務所	2人

第2回	10月1日(日)	JVCA 事務所	5人
採点	11月16日(木)	JVCA 事務所	3人
採点	11月24日(金)	JVCA 事務所	2人
採点	12月7日(木)	JVCA 事務所	2人
採点	12月20日(水)	JVCA 事務所	2人

⑤ ボランティアコーディネーション力検定研修委員会の運営

前年度の1、2級直前研修の振り返りを行い、本年度の研修プログラムやテキストの改訂について協議した。また、3級検定公式テキストの在庫が少なくなってきたことに伴い、増刷に向けての準備を行った。

<委員名簿>

No	委員名	所 属
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		

・ 検定研修委員会の開催実績

回	開催日	形態	参加人数
第1回	4月11日(火)	オンライン	6人
第2回	8月4日(金)	オンライン	5人

⑥ ボランティアコーディネーション力検定1・2・3級直前研修講師養成

2級検定の演習講師として新たに1名が就任した。

⑦ 検定合格者(3級・2級)に対する上級検定情報の提供

登録アドレスにダイレクトメールで案内した。

(4) 情報の収集及び提供活動の推進

(事業費：573千円/従事者数：有給スタッフ3人・ボランティア5人)

① メールマガジンの発行(月1回程度)

→JVCA めるまが Co★Co★Net 第196号～第202号の発信

② JVCA 公式 Facebook の運営

→適宜、委員会や事業案内などの記事を発信した。

③JVCA の YouTube 公式チャンネルの運営

→ (7) ⑥で報告

④JVCA 紹介チラシの作成、配付

→JVCA の団体紹介チラシを作成し、会場で開催する研修先では参加者に配付し、オンライン研修ではデータをチャットに貼り付ける形で配付した。

⑤WEB サイトの情報更新

→適宜、情報発信およびメンテナンスを行った。

⑥ボランティアコーディネーションに関する図書・文献情報の収集

→『あそびの生まれる時 「お客様」時代の地域活動コーディネーション』

■■■■■■ 著、ころから 発行

『共に育つ“学生×大学×地域” 人生に響くボランティアコーディネーション』

聖学院大学ボランティア活動支援センター編、聖学院大学出版会 発行

『モヤモヤのボランティア学 私・他者・社会の交差点に立つアクティブラーニング』

■■■■■■ 編、昭和堂 発行

『更生保護（令和5年6月号） 特集：魅力ある保護司会』日本更生保護協会 発行

掲載：論説「変化する組織への使命感と所属意識」（執筆 ■■■■■■）

『ボランティア活動論』■■■■■■

ミネルヴァ書房 発行

⑦ボランティアおよびボランティアコーディネーションについての普及啓発

・「ご存知ですか？ボランティアコーディネーター」ポスターの増刷および会員への配付

→ボランティアコーディネーターへの理解を進めるためのポスターを入会時に配付

し、活用を呼びかけた。（ホームページからもダウンロード可）

(5) 広報紙および出版物の発行

(事業費：1,422 千円／従事者数：有給スタッフ 3 人・ボランティア 12 人)

①ニュースレター『Co★Co★Net』の発行（計画：3 回／発行：3 回） 部数：500 部

第 68 号（4 月 8 日）特集：被災者支援とコーディネーション

第 69 号（8 月 20 日）特集：コロナ禍における医療現場の実情と工夫

第 70 号（12 月 10 日）特集：こんな話を社協に相談しても仕方ないんじゃないけど…

②ボランティアコーディネーションカ1 級検定テキストの発行

『ボランティアコーディネーションカ1 級検定テキスト』改訂版の発行 33 部

③ボランティアコーディネーションカ2 級検定サブテキストの発行

『ボランティアコーディネーションカ2 級検定サブテキスト』の発行 60 部

(6) 調査・研究事業の実施

(事業費：433千円／従事者数：有給スタッフ2人・ボランティア26人)

- ①「グッドプラクティス認定システム化委員会」の運営および実践事例の募集
・「グッドプラクティス認定システム化委員会」の設置

No	委員名	所 属
1		
2		
3		
4		

- ・委員会の開催 →なし

→事例は常時募集をしたが応募はなかった。

- ・1級検定直前研修講師の [redacted] が発起人となり「事例から深める！ボランティアコーディネーション研究会」を呼びかけた。対象は1、2級合格者。1級合格者から事例提供をいただき、事例検討会を開催する。この場を将来的にはグッドプラクティスの発掘と伴走支援につなげたい。

事例から深める！ボランティアコーディネーション研究会 開催実績

No	回	開催日	スーパーバイザー／事例発表者	参加人数
1	第1回	7月4日(火)	[redacted]	20人
	第2回	7月18日(火)	[redacted]	24人
	第3回	8月1日(火)	[redacted]	19人
2	第1回	11月21日(火)	[redacted]	19人
	第2回	12月1日(金)	[redacted]	17人
	第3回	12月12日(火)	[redacted]	17人

②マスコミ向けパンフレットの作成

ボランティア報道アクションチームにより、報道関係者向けにパンフレットの作成に取り組んだ。チームの草案を理事・運営委員合宿で内容を協議した。パンフレットのデザイン及び文章を推敲する段階まで進捗した。

<ボランティア報道アクションチーム> [redacted]
[redacted]

- ・チームミーティング実績

回	開催日	形態
第1回	5月1日(月)	オンライン
第2回	5月10日(水)	オンライン

第3回	5月29日(月)	オンライン
第4回	6月18日(日)	オンライン
第5回	7月7日(金)	オンライン
第6回	7月21日(金)	オンライン
第7回	8月26日(土)	オンライン
第8回	9月15日(金)	オンライン
第9回	10月8日(日)	オンライン
第10回	11月4日(土)	オンライン
第11回	11月24日(金)	オンライン
第12回	12月4日(月)	オンライン
第13回	12月18日(月)	オンライン

③新たな事業展開につなげる調査研究事業の企画

本年度の予算作成の段階で財政委員会を中心に助成金の獲得策を検討し、新たに取り組む事業や既存の事業の活性化につなげる調査研究について協議を進めてきた。前半は理事・運営委員に投げかけて有志によるミーティングを開催、テーマや内容を絞り込み、トヨタ財団の国内助成プログラムへの応募を決めて以降はタスクチームを結成して検討した。結論としては本年度の申請は断念し、小さく取り組みを始動させながら、次年度の助成金申請に照準を合わせた準備を行っていく。

<助成金申請タスクチーム>



・財政委員会→有志ミーティング→タスクチームミーティング実績

回	開催日	形態	備考
第1回	1月8日(日)	オンライン	有志
第2回	1月15日(日)	オンライン	
第3回	2月15日(水)	オンライン	
第4回	4月21日(金)	オンライン	
第5回	5月7日(日)	オンライン	タスクチーム
第6回	5月18日(木)	オンライン	
第7回	5月25日(木)	オンライン	
第8回	6月8日(木)	オンライン	
第9回	6月21日(水)	オンライン	
第10回	9月20日(水)	オンライン	
第11回	11月6日(月)	オンライン	
第12回	12月16日(土)	オンライン	

(7) ボランティアコーディネーターの交流の促進

(事業費：242 千円/従事者数：有給スタッフ 2 人・ボランティア 20 人)

① CoCo サロンの開催・運営支援

地域プロモーション委員会を中心に CoCo サロンの立ち上げおよび運営を支援。

・ CoCo サロンの開催状況

No	開催日	サロン名	会場	人数	テーマ
1	1月 4日 (水)	CoCo サロン 中部	オンライン	8人	エリアメイトを呼びかけ人に、地元メンバーに全国からの参加も加わって、情報交換を行った。
2	1月 25日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	8人	重層的支援体制整備事業の取り組みをめぐる現状や問題点を共有しながら、障害者問題への対応が弱いなどの課題を確認した。
3	3月 22日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	9人	近況報告から「職員の定着率低下と働き甲斐」「ソーシャルな分野への企業進出」等々のキーワードが出され、情報や意見の交換をした。
4	5月 20日 (土)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン研究所+ オンライン	8人	NPO [] をゲストに、「支援」って? 「福祉」って? 生きる と 活きる を 深掘りし、支援するされるを考えた。
5	7月 26日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン研究所+ オンライン	4人	福祉施設やボランティアをキーワードにざっくばらんな情報交換、対話による学びの場を開催した。
6	8月 29日 (火)	CoCo サロン 長野	ダイニング晴 ～はれる～	8人	研修講師で赴いた [] をゲストに、久しぶりに対面で集い、夕食をとりながら情報交換と交流を行った。
7	9月 10日 (日)	CoCo サロン 庄内	楽家(らくや)	6人	共催検定講師で赴いた [] さんをゲストに、コロナ禍で休んでいたサロンを再開し、食事を楽しみながら情報交換をした。
8	9月 27日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン研究所+ オンライン	5人	福祉施設やボランティアをキーワードにざっくばらんな情報交換、対話による学びの場を開催した。
9	11月 29日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン研究所+ オンライン	6人	福祉施設やボランティアをキーワードにざっくばらんな情報交換、対話による学びの場を開催した。
10	12月 13日 (水)	CoCo サロン 東北	オンライン	8人	運営委員で NPO 法人ぼらんたす(山形)の [] から居場所「楽家」の取り組みの話題提供をいただき、その後交流を行った。

②エリアアクションの開催～身近な地域での会員のつながりづくり

6月に会員メーリングリストを使って「エリアメイト」を募集した。新規の方にはオンラインによるオリエンテーションを行い、活動の趣旨や内容を紹介した。

③国内外の関係団体との連携

国内外の関係団体とボランティアコーディネーションの普及促進に関連する事業に後援ならびに協力し、連携を深めた。

<委嘱・協力>

- ・「広がれボランティアの輪」連絡会議への参加
(幹事会/ボランティア全国フォーラムの企画)
- ・東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN) への参加
- ・東京都中央区地域振興課：中央区協働推進会議 委員
- ・全国社会福祉協議会：全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会
- ・災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 (支援 P) 委員
- ・シャプラニール=市民による海外協力の会：理事 (6月まで) /評議員 (6月から)
- ・東京ボランティア・市民活動センター：中間支援組織スタッフの支援力アップ塾企画・評価委員

<後援>

- ・第 58 回公益財団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第 22 回日本精神保健福祉士学会学術集会 (事務局：日本精神保健福祉士協会)
- ・「ファンドレイジング・日本 (FRJ) 2024 (日本ファンドレイジング協会)

④会員メーリングリストによる会員相互の相談・助言の促進

会員メーリングリストを通して会員間のコミュニケーション 利用件数 103 件

⑤会員限定 Facebook グループ「集まれ！ボランティアコーディネーター」の活用

WEB 委員会により、コーディネーター同士の気軽で自由な情報交換の場としてコーディネーションに関連する企画や研修情報を発信したり、各自の投稿を促した。

⑥動画「旅する JVCA」を作成し、YouTube の JVCA 公式チャンネルで発信

3本の動画を作成し、「旅する JVCA」として配信した。

第 6 回

第 7 回

第 8 回

⑦オンラインを活用した会員の交流サロン・勉強会の開催

WEB 委員会が企画・運営する会員向けのオンラインサロンを開催した。テーマは「オンライン・ツール」。ボランティア活動やコーディネーションの現場で広報やコミュニケーションのために「使っている・使えるツール」を題材にざっくばらんに意見交換、

情報交換等を行った。

No	開催日	形態	参加人数
1	9月25日(月)	オンライン	5人



2 組織運営と財政

(1) 通常総会

開催日時 3月4日(土) 19時00分～20時38分
場 所 オンライン会議 (Zoom を利用)
出席者数 217人 (議場出席 50人、書面表決 52人、委任状提出 115人)
審議事項 第1号議案 2022年度事業報告ならびに決算案について
第2号議案 2023年度事業計画ならびに予算案について

総会は成立し、すべての議案が承認された。

(2) 監事監査の実施

2022年度の事業執行についての監事監査を実施した。

日時 1月28日(土)
場所 JVCA 事務所
出席 XXXXXXXXXX

(3) 理事会

・理事会の開催 計画：4回 (1月、4月、7月、12月) / 実施4回

回	開催日	会場	出席	審議事項
第82回	2月5日 (日)	オンライン	14人	第1号議案 2022年度事業報告および決算案について / 第2号議案 事務局職員給与の改善～賃金規程別表の改定について / 第3号議案 2023年度事業計画 (一部修正) および予算案について / 第4号議案 運営委員会規程および処務規程の改定について / 第5号議案 2023年度運営委員選考委員の選任について
第83回	4月9日 (日)	オンライン	15人	審議事項なし

第 84 回	7月16日 (日)	オンライン	14人	第1号議案 2023年度上半期事業 執行状況について/第2号議案 第5 期中期ビジョン策定方針およびタスク チームの設置について/第3号議案 就業規則の一部改訂について
第 85 回	12月24日 (日)	オンライン	14人	第1号議案 2024年度事業計画お よび暫定予算案について/第2号議案 『報道関係者向けパンフレット』の作 成について/第3号議案 2024年 度検定試験委員の選任について/第4 号議案 電子取引データの訂正及び削 除の防止に関する事務処理規程の設置 について

(4) 理事・運営委員合同合宿 (ハイブリッド形式)

JVCAの今後や重点事業の進め方などを協議するために、理事と運営委員がハイブリッド方式で協議する1泊2日の合宿を行った。

7月29・30(土・日) @おごと温泉木もれび(滋賀県) & Zoom

(5) 委員会

①運営委員会(計画:月1回 全12回/実施:12回) ※1回は合宿を兼ねる

4月に新体制となり、オンラインと集合形式を組み合わせ実施した。

2023年度運営委員体制(2023.4~2024.3)

◎委員長 ○副委員長

NO	氏名	地域	所属
1			
2			
3			
4			
○5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
○24	
25	
◎26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	

・運営委員選考委員会

正会員に公募した 2023 年度の運営委員募集について応募者からの選考を行い、代表理事に推薦した。

日時 2023年3月14日(火)

場所 オンライン

出席 XXXXXXXXXX

・運営委員会(月1回)の開催実績

回	開催日	会場	人数
第1回	1月22日(日)	オンライン	22人
第2回	2月26日(日)	オンライン	22人
第3回	3月25日(土)	オンライン	25人
第4回	4月22日(土)	オンライン+龍谷大学大阪梅田キャンパス +飯田橋セントラルプラザ	30人
第5回	5月13日(土)	オンライン+龍谷大学大阪梅田キャンパス +飯田橋セントラルプラザ	26人
第6回	6月25日(日)	オンライン+飯田橋セントラルプラザ	25人

第7回	7月29・30日 (土・日)	@おごと温泉木もれび+オンライン ※理事と運営委員の合同合宿	34人
第8回	8月20日(日)	オンライン	28人
第9回	9月24日(日)	オンライン	24人
第10回	10月22日(日)	【メイン会場】龍谷大学大阪梅田キャンパス +オンライン	21人
第11回	11月23日(木・祝)	オンライン	23人
第12回	12月2日(土)	【メイン会場】東京ボランティア・市民活動 センター+オンライン	24人

②各種委員会の運営

各種事業の進行管理を徹底し、事業推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、運営委員、一般会員の参加で以下の委員会を推進した。

i) 研修開発委員会

本年度の実務者研修のテーマ決めとそれぞれのプログラム作成と運営を行った。

回	開催日	会場
第1回	5月13日(土)	オンライン
第2回	6月8日(木)	オンライン
第3回	11月16日(木)	オンライン

ii) 研究集会企画委員会 (拡大)

今後のJVCCのあり方についての話し合いを行った。また、JVCC2024に向けて実行委員会の人選および呼びかけを経て、委員会を始動させた。

回	開催日	会場
第1回	1月8日(日)	オンライン
第2回	2月14日(火)	オンライン
第3回	3月13日(月)	オンライン

iii) 財政委員会

2023年度本予算と2024年度暫定予算案の作成と財源確保について協議し、調査研究事業での助成金申請の対策を協議した。助成金申請に関してはタスクチーム結成までを牽引した。

回	開催日	会場
第1回	5月9日(火)	オンライン
第2回	10月18日(水)	オンライン
第3回	11月13日(月)	オンライン

第4回	11月30日(木)	オンライン
-----	-----------	-------

iv) WEB委員会

JVCA公式Facebookの運営、Facebookグループへの発信・管理。あらためてWEB委員会のタスクについても確認した。

回	開催日	会場
第1回	2月24日(金)	オンライン
第2回	4月17日(月)	オンライン
第3回	6月14日(水)	オンライン
第4回	7月12日(土)	オンライン
第5回	8月8日(火)	オンライン
第6回	9月19日(火)	オンライン
第7回	12月22日(金)	オンライン

v) 地域プロモーション委員会

CoCoサロン開催の呼びかけ、旅するJVCAの収録・編集・公開など、役割を分担して進捗状況を確認しながら進めた。エリアメイトについてはあらためて募集をかけた。

回	開催日	会場
第1回	1月22日(日)	オンライン
第2回	2月26日(日)	オンライン
第3回	3月22日(水)	オンライン
第4回	4月22日(土)	オンライン
第5回	5月7日(日)	オンライン
第6回	5月13日(土)	オンライン
第7回	6月25日(日)	オンライン
第8回	8月20日(日)	オンライン
第9回	9月24日(日)	オンライン
第10回	10月22日(日)	オンライン
第11回	11月23日(木・祝)	オンライン

③専門委員会の設置、運営

- i) ボランティアコーディネーション力検定試験委員会 →事業の推進(3)で
- ii) ボランティアコーディネーション力検定研修委員会 →事業の推進(3)で
- iii) グッドプラクティス認定システム化委員会 →事業の推進(6)で

④プロジェクトチームの運営

各種委員会の他に、必要に応じて各種チームを構成し、事業の進行を図る。

i) 検定プロモーションプロジェクトチーム（継続）

・チームミーティング実績

回	開催日	形態
第1回	4月22日（土）	オンライン
第2回	6月25日（日）	オンライン
第3回	8月20日（日）	オンライン
第4回	10月22日（日）	オンライン
第5回	12月2日（土）	オンライン

ii) これからの組織運営を検討するタスクチーム

…第4期中期ビジョンの振り返りをふまえ、JVCAの将来像をふまえた、これからの組織・運営体制（財政、理事・運営委員の活動内容、事務局のあり方等）を提案した。代表理事への報告をまとめ、4月の理事会で報告しチームは解散した。

・チームミーティング実績

回	開催日	形態
第1回	1月19日（木）	オンライン
第2回	2月20日（月）	オンライン

iii) 第5期中期ビジョン策定タスクチーム

…上記ii)のタスクを引き継ぐチームの設置について7月理事会において承認。9月から協議を開始した。

<チームメンバー>

No	氏名	所属	JVCAでの主な役割
1			
2			
3			
4			
5			

・チームミーティング実績

回	開催日	形態
第1回	9月22日（金）	オンライン
第2回	10月18日（水）	オンライン
第3回	10月24日（火）	オンライン

第4回	11月15日(水)	オンライン
第5回	11月28日(火)	オンライン
第6回	12月8日(金)	オンライン

(6) 理事と運営委員のコミュニケーションの強化

- ①理事・運営委員プロフィール集の更新 → 4月のランチミーティングに向けて更新
- ②理事会・運営委員会相互へのオブザーバー参加の促進
4月理事会の終了後に新体制になった運営委員とのランチミーティングを企画し、当日は交流を重視したプログラムを実施した。

<理事と運営委員のコミュニケーションを深めるタスクチーム>

・チームミーティング実績

回	開催日	形態
第1回	3月15日(水)	オンライン

(7) 会員拡大および会員サービスの充実

- ①「顧客・支援者データベース」の活用各種事業についての案内を該当する顧客を検索し、適宜Eメールにより周知した。
- ②会員拡大に関する取り組み
 - ・ボランティアコーディネーション力検定合格者に対し、入会の案内を行った。
 - ・入会のインセンティブとしての割引等を、研究集会や検定、研修申込の際に案内した。

2023年度末の会員数

種別	数	計
正会員	322	421
準会員	7	
賛助会員(個人)	85	
賛助会員(団体)	7	

③会費納入率の向上への取り組み

2月に新年度の会員継続と会費納入を依頼するダイレクトEメールを送り、4月の広報紙発送の際には未納者への納入依頼文書を同封した。以降、8月と12月の広報紙発送にも依頼文書を同封。11月～12月には運営委員がEメールやメッセージなど各自の顔見知りの会員に対し、直接会員継続と会費納入をお願いした。

(8) 事務局運営の充実

①事務局常勤スタッフの採用

4月1日付で常勤職員を採用した。

②事務局担当理事の設置とスーパービジョンの実施

■■■■■■■■■■ および ■■■■■■■■■■ による職員へのスーパービジョンを実施した。新任職員には試用期間があける際に、全職員には年度末に個別面談を行い、業務上の課題や今後の希望などを聞き取り、適宜アドバイスも行った。

③ボランティアコーディネーションに関わる拠点機能の強化

ボランティアコーディネーターに役立つ書籍を収集した（献本を含む）。

(9) 財源の確保

①会費収入の拡大

会費納入率が例年よりも低い実情を運営委員会で共有し、関係者への早めの納入をお願いした。

②事業収益の拡大

案内チラシの送付、関係団体のメルマガへの発信、メールやメッセージによる個別のPRなど、研修や検定の周知、講師派遣先の開拓を行った。

③寄付者の拡大

12月に会員に対し年度末の寄付の依頼を行った。

④助成金、委託事業などの活用

今後の事業展開に活用できる研究や活動に対する助成金等の情報を収集し、タスクチームを結成して事業内容を検討した（次年度申請をめざす）。

⑤「おサイフ通信」の発行

財政委員会から会員メーリングリストにJVCAおサイフ通信を発信し、JVCAの厳しい財政状況を伝え、会員の継続と会費納入、寄付のお願いをした。

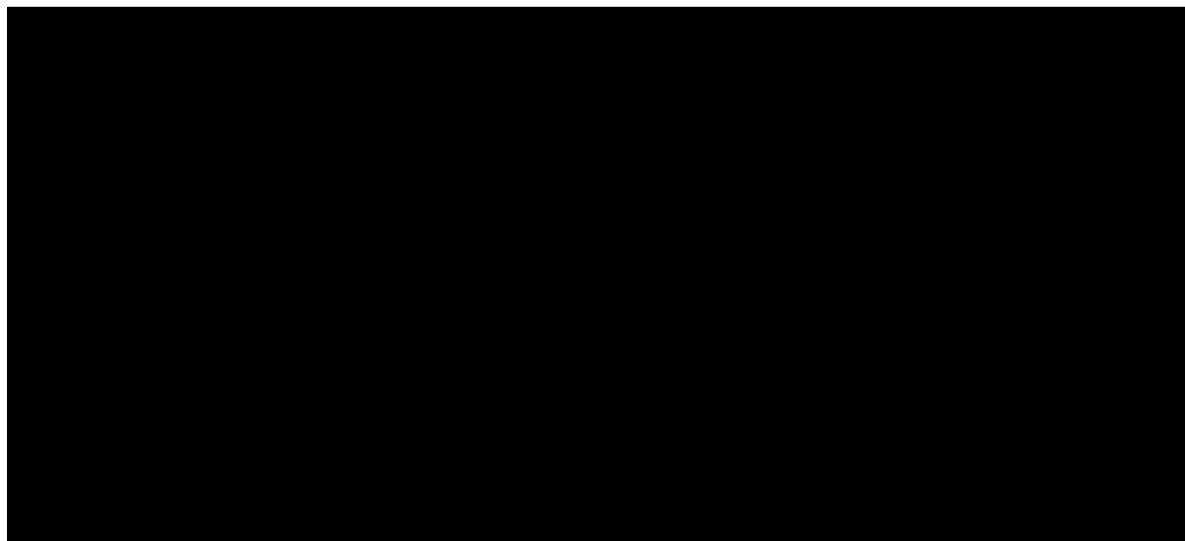
・第16号（6月8日刊）

・第17号（12月14日刊）

◆寄附者名簿◆

ボランティアコーディネーションの普及をするための事業に充当する「コーディネーターみらい募金」、2級検定合格をめざす30歳以下の若いコーディネーターを応援する「U-30応援プログラム」の財源としてご寄附いただいたみなさんです。ありがとうございました。

※敬称は略します



決算報告書

第 23 期

自 2023年 1月 1日

至 2023年12月31日

特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会

東京都新宿区神楽坂 2丁目 13
末よしビル別館 30D

活動計算書

【税込】(単位:円)

日本ボランティアコーディネーター協会

自 2023年 1月 1日 至 2023年12月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	2,830,000		
準会員受取会費	20,000		
賛助会員受取会費(個人)	243,000		
賛助会員受取会費(団体)	70,000	3,163,000	
【受取寄付金】			
寄付金(一般)	499,816		
寄付金(指定)	89,000	588,816	
【事業収益】			
研修・講師派遣事業収益	5,990,081		
検定システム事業収益	6,500,840		
出版事業収益	982,352		
その他事業収益	1,000	13,474,273	
【その他収益】			
受取利息		8,143	
経常収益計			17,234,232
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料手当(事業)	6,732,799		
法定福利費(事業)	1,232,590		
人件費計	7,965,389		
(その他経費)			
売上原価	774,446		
図書資料収集費	11,034		
広報宣伝費(事業)	139,967		
業務委託費	1,310,800		
諸謝金(事業)	2,584,781		
印刷製本費(事業)	449,325		
旅費交通費(事業)	254,388		
通信運搬費(事業)	319,509		
消耗品費(事業)	118,641		
賃借料(事業)	457,810		
諸会費(事業)	20,000		
支払手数料(事業)	12,447		
検定料助成支出(事業)	50,000		
雑費(事業)	74,336		
その他経費計	6,577,484		
事業費計		14,542,873	
【管理費】			
(人件費)			
給料手当	750,198		
臨時雇員費	1,691,200		
法定福利費	119,196		
福利厚生費	7,263		
人件費計	2,567,857		
(その他経費)			
印刷製本費	13,156		
会議費	87,250		
旅費交通費	56,680		
通信運搬費	195,750		
消耗品費	67,945		
水道光熱費	115,505		
賃借料	1,894,750		
租税公課	781,227		
クレジット決済手数料	164,475		
支払報酬(顧問料)	32,450		
雑費	22,639		
その他経費計	3,431,827		
管理費計		5,999,684	
経常費用計			20,542,557
当期経常増減額			△ 3,308,325
【経常外収益】			
経常外収益計			0
【経常外費用】			
過年度損益修正損		157,000	
経常外費用計			157,000
税引前当期正味財産増減額			△ 3,465,325
当期正味財産増減額			△ 3,465,325
前期繰越正味財産額			21,865,932
次期繰越正味財産額			18,400,607

貸借対照表

日本ボランティアコーディネーター協会

[税込] (単位: 円)

全事業所

2023年12月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	785,673
小口 現金	2,624	前 受 金	416,700
振替預金 (ゆうちょ銀行)	9,179,062	預 り 金	499,942
普通預金 (三菱UFJ銀行原宿)	124,134	流動負債 計	1,702,315
普通預金 (みずほ)	1,241,382	負債合計	1,702,315
普通預金 (三井住友)	541	正 味 財 産 の 部	
普通預金 (三菱UFJ銀行神田)	151,700	【正味財産】	
現金・預金 計	10,699,443	前期繰越正味財産額	21,865,932
(売上債権)		当期正味財産増減額	△ 3,465,325
未 収 金	1,624,289	正味財産 計	18,400,607
売上債権 計	1,624,289	正味財産合計	18,400,607
(棚卸資産)			
販売用資産	110,744		
棚卸資産 計	110,744		
(その他流動資産)			
前払 費用	278,445		
その他流動資産 計	278,445		
流動資産合計	12,712,921		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器 備品	1		
有形固定資産 計	1		
(投資その他の資産)			
敷 金	390,000		
特定資産 新規事業開発	2,000,000		
特定資産 緊急災害等対応	5,000,000		
投資その他の資産 計	7,390,000		
固定資産合計	7,390,001		
資産合計	20,102,922	負債及び正味財産合計	20,102,922

財務諸表の注記

日本ボランティアコーディネーター協会

2023年12月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による
- (2). 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産：定額法
- (3). 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込み方式によっています。

【事業費の内訳】

事業費の区分は別紙の通りです。

【使途等が制約された寄付等の内訳】

[税込] (単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
特定資産 新規事業開発	2,000,000	0	0	2,000,000	ボランティアコーディネーション力検定などの専門性確立のために行う新規事業開発を目的とした特定資金
特定資産 緊急災害対策等対応	5,000,000	0	0	5,000,000	地震、津波、洪水などの自然災害発生時に、緊急に対策が必要になった際に利用することを目的とした特定資金
検定システム事業費	112,358	89,000	50,000	151,358	アンダー30応援プログラム実施のための寄付金で、30歳以下の方がボランティアコーディネーション力検定2級を受験する際に使用する資金
合計	7,112,358	89,000	50,000	7,151,358	

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
什器 備品	283,500	0	0	283,500	△ 283,499	1
合計	283,500	0	0	283,500	△ 283,499	1

【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

[税込] (単位：円)

科目	別添簿籍に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び近親者等との取引
(活動計算書)			
業務委託費 (事業)	1,310,800	96,400	0
活動計算書計	1,310,800	96,400	0

【その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項】

過年度損益修正損は、2022年12月に実施した「市民の参加を支える人材の”越境型プラットフォーム”構築事業として受け取った助成金決定額と確定額の差額を独立行政法人福祉医療機構に返金した金額です。

[税込] (単位：円)

科目	決定額	確定額	差額
(活動計算書)			
受取助成金 (2022年)	2,773,000	2,616,000	157,000
活動計算書計	2,773,000	2,616,000	157,000

事業別損益の状況（別表）

特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会

2023年12月31日 現在
[税込] (単位：円)

勘定科目	(1) ボランティアコーディネーター研究会の開催	(2) ボランティアコーディネーターの講習および研修の実施		(3) ボランティアコーディネーションカ 検定事業	(4) 情報収集および提供	(5) 出版物の発行	(6) 調査研究	(7) 交流の促進	(8) その他事業 (20周年記念事業)	事業部門計	管理部門	合計
	2022年12月集会	主催講座事業	講師派遣事業									
【経常収益】												
【受取会費】												
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,830,000	2,830,000
準会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	20,000
賛助会員受取会費(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	243,000	243,000
賛助会員受取会費(団体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70,000	70,000
受取会費 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,163,000	3,163,000
【受取寄付金】												
寄付金（一般）	0	0	0	0	100,000	100,000	200,000	0	0	400,000	99,816	499,816
寄付金（指定）	0	0	0	89,000	0	0	0	0	0	89,000	0	89,000
受取寄付金 計	0	0	0	89,000	100,000	100,000	200,000	0	0	489,000	99,816	588,816
【事業収益】												
研修・講師派遣事業収益		980,100	5,009,981	0	0	0	0	0	0	5,990,081	0	5,990,081
検定システム事業収益		0	0	6,500,840	0	0	0	0	0	6,500,840	0	6,500,840
出版事業収益		0	0	0	0	982,352	0	0	0	982,352	0	982,352
20周年記念事業収益		0	0	0	0	0	0	0	1,000	1,000	0	1,000
事業収益 計	0	980,100	5,009,981	6,500,840	0	982,352	0	0	1,000	13,474,273	0	13,474,273
【その他収益】												
受取 利息		0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,143	8,143
その他収益 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,143	8,143
経常収益 計	0	980,100	5,009,981	6,589,840	100,000	1,082,352	200,000	0	1,000	13,963,273	3,270,959	17,234,232
【経常費用】												
【人件費】												
給料手当	84,599	354,218	1,062,655	3,814,454	354,218	531,328	354,218	177,109	0	6,732,799	750,198	7,482,997
臨時雇員費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,691,200	1,691,200
法定福利費	0	75,447	226,341	629,013	75,447	113,171	75,447	37,724	0	1,232,590	119,196	1,351,786
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,263	7,263
人件費計	84,599	429,665	1,288,996	4,443,467	429,665	644,499	429,665	214,833	0	7,965,389	2,567,857	10,533,246
【その他の経費】												
売上原価（出版書籍、検定テキスト費用）	0	0	0	0	0	774,446	0	0	0	774,446	0	774,446
図書資料収集費	0	5,004	0	0	2,640	0	3,390	0	0	11,034	0	11,034
広報宣伝費	0	0	0	0	139,967	0	0	0	0	139,967	0	139,967
業務委託費	319,000	0	0	991,800	0	0	0	0	0	1,310,800	0	1,310,800
支払報酬（顧問料）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32,450	32,450
謝礼金	0	11,136	1,635,419	938,226	0	0	0	0	0	2,584,781	0	2,584,781
印刷製本費	71,450	14,220	0	357,655	0	0	0	6,000	0	449,325	13,156	462,481
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87,250	87,250
旅費交通費	43,260	10,000	0	201,128	0	0	0	0	0	254,388	56,680	311,068
運搬運搬費	64,846	73,416	4,070	175,359	0	1,818	0	0	0	319,509	195,750	515,259
消耗品費	0	6,068	0	112,573	0	0	0	0	0	118,641	67,945	186,586
賃借料	0	0	0	457,810	0	0	0	0	0	457,810	1,894,750	2,352,560
水道光熱費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115,505	115,505
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	20,000	0	20,000	0	20,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	781,227	781,227
検定助成支出	0	0	0	50,000	0	0	0	0	0	50,000	0	50,000
クレジット決済手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	164,475	164,475
支払手数料（オンライン開催分）	0	12,447	0	0	0	0	0	0	0	12,447	0	12,447
雑費	2,475	2,013	13,981	52,358	660	1,529	0	1,320	0	74,336	22,639	96,975
その他経費計	501,031	134,304	1,653,470	3,336,909	143,267	777,793	3,390	27,320	0	6,577,484	3,431,827	10,009,311
経常費用計	585,630	563,969	2,942,466	7,780,376	572,932	1,422,292	433,055	242,153	0	14,542,873	5,999,684	20,542,557
【経常外費用】												
過年度損益修正損	157,000	0	0	0	0	0	0	0	0	157,000	0	157,000
経常外費用計	157,000	0	0	0	0	0	0	0	0	157,000	0	157,000
当期正味財産増減額	-742,630	416,131	2,067,515	-1,190,536	-472,932	-339,940	-233,055	-242,153	1,000	-736,600	-2,728,725	-3,465,325

財 産 目 録

日本ボランティアコーディネーター協会
全事業所

[税込] (単位: 円)
2023年12月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

小口 現金	2,624
振替預金 (ゆうちょ銀行)	9,179,062
普通預金 (三菱UFJ銀行 原宿支店)	124,134
普通預金 (みずほ銀行 飯田橋支店)	1,241,382
普通預金 (三井住友銀行 飯田橋支店)	541
普通預金 (三菱UFJ銀行 神田支店)	151,700
現金・預金 計	10,699,443

(売上債権)

未 収 金	1,622,089
講師派遣事業未収 (講師派遣料 5件)	(511,280)
検定事業未収 (共催検定費用 2件)	(610,120)
研修事業未収 (主催研修参加費 1件)	(2,200)
その他の未収金 (クレジット決済など)	(500,689)
売上債権 計	1,624,289

(棚卸資産)

販売用資産 (販売資産書籍在庫残高)	110,744
棚卸資産 計	110,744

(その他流動資産)

前払 費用	278,445
JVCC2024費用	(135,005)
2024年1月事務所家賃	(143,000)
振込手数料	(440)
その他流動資産 計	278,445

流動資産合計

12,712,921

【固定資産】

(有形固定資産)

什器 備品	1
有形固定資産 計	1

(投資その他の資産)

敷 金 支払日: 2006年 3月28日 繰末よし 210,000円	390,000
2011年10月19日 繰末よし 180,000円	
特定資産 新規事業開発	2,000,000
特定資産 緊急災害等対応	5,000,000
投資その他の資産 計	7,390,000

固定資産合計

7,390,001

資産の部 合計

20,102,922

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金

給与報酬未払金 (非常勤・アルバイト12月分給与)	785,673
法定福利未払金 (社会保険料11月・12月・賞与分)	(109,812)
通信運搬未払金 (ヤマト運輸支払11月・12月分)	(550,771)
消耗品未払金 (アスクール12月分)	(54,992)
水道光熱未払金 (水道料金11月・12月分)	(8,300)
その他の未払金	(3,720)
その他の未払金	(58,078)

前 受 金

正会員費 (21名)	416,700
賛助会員費 (個人: 14名)	(210,000)
JVCC2024参加費	(42,000)
JVCC2024交流会費	(139,700)
その他前受 (クレジット決済分寄附金)	(12,000)
その他前受 (クレジット決済分寄附金)	(13,000)

預 り 金

源泉所得税 (職員7月~12月分)	499,942
講師源泉 (講師派遣、検定謝金、源泉12月分)	(156,751)
住民税 (職員12月分)	(58,806)
受託図書販売預かり分	(29,300)
その他一時預かり金	(168,681)
その他一時預かり金	(86,404)

流動負債 計

1,702,315

負債の部 合計

1,702,315

正味財産

18,400,607

令和5年度 年間役員名簿

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

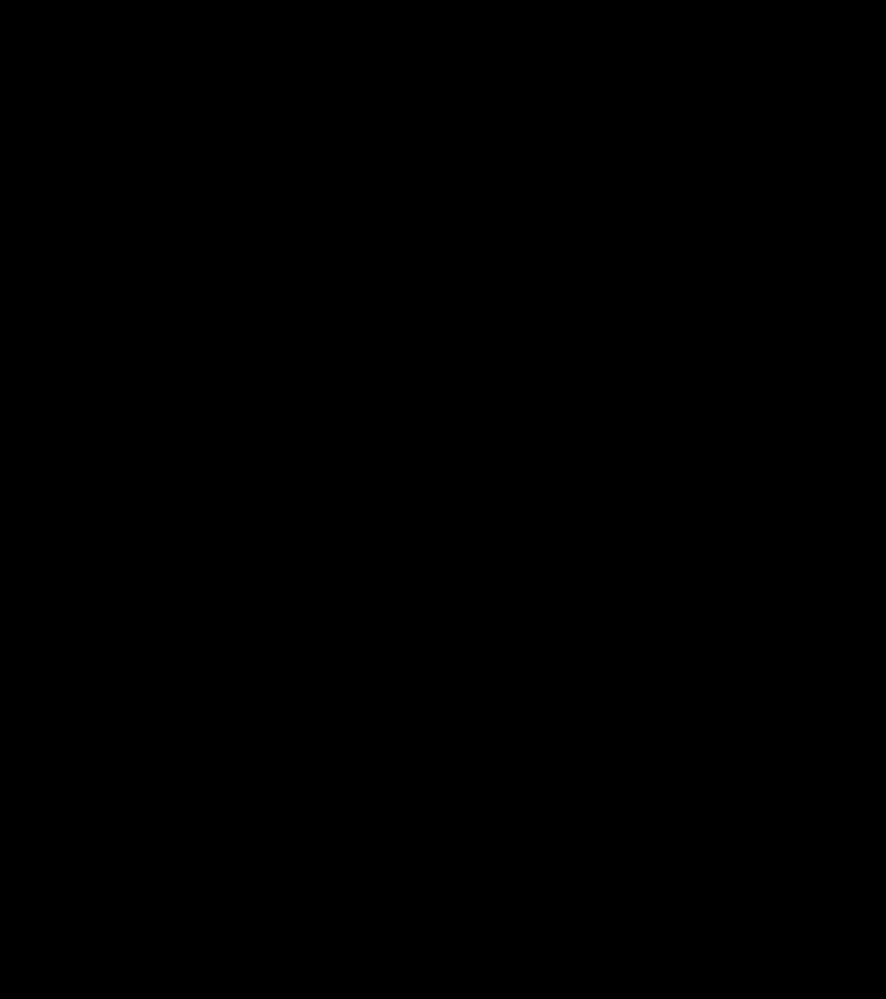
特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会

役名	氏名	就任期間	報酬を受けた期間
理事	アオヤマ オリエ 青山 織衣	令和5年1月1日～ 令和5年12月31日	なし
理事	カスミ タカユキ 鹿住 貴之	令和5年1月1日～ 令和5年12月31日	なし
理事	キクチ アキヨシ 菊池 哲佳	令和5年1月1日～ 令和5年12月31日	なし
理事	オカ ショウコ 岡 昌子 (遠山 昌子)	令和5年1月1日～ 令和5年12月31日	なし
理事	トダ チトミ 戸田 千登美	令和5年1月1日～ 令和5年12月31日	なし
理事	ナガイ ミカ 永井 美佳	令和5年1月1日～ 令和5年12月31日	なし
理事	ハセベ オサム 長谷部 治	令和5年1月1日～ 令和5年12月31日	なし
理事	ツバキ ケイコ 椿 恵子 (疋田 恵子)	令和5年1月1日～ 令和5年12月31日	なし
理事	メガ フミコ 妻鹿 ふみ子	令和5年1月1日～ 令和5年12月31日	なし
理事	アベ ヨウイチロウ 阿部 陽一郎	令和5年1月1日～ 令和5年12月31日	なし
理事	カワナカ ダイスケ 川中 大輔	令和5年1月1日～ 令和5年12月31日	なし
理事	サトウ タクミ 佐藤 匠	令和5年1月1日～ 令和5年12月31日	なし
理事	シバタ マリコ 柴田 麻理子 (後藤 麻理子)	令和5年1月1日～ 令和5年12月31日	なし
理事	ニシカワ タダシ 西川 正	令和5年1月1日～ 令和5年12月31日	なし
理事	ハヤセ ノボル 早瀬 昇	令和5年1月1日～ 令和5年12月31日	なし
監事	ウチノ メグミ 内野 恵美	令和5年1月1日～ 令和5年12月31日	なし
監事	イケダ ユキナリ 池田 幸也	令和5年1月1日～ 令和5年12月31日	なし

社員のうち10人以上の者の名簿

2023年12月31日現在

特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会

No.	氏名	住所または居所
1	青山 織衣	
2	上田 英司	
3	栗原 穂子	
4	柴田 健次	
5	鹿住 貴之	
6	武藤 祐子	
7	三田 響子	
8	唐木 理恵子	
9	須藤 美智子	
10	加留部 貴行	

特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会

2023年度 監査報告書

特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会
代表理事 妻 鹿 ふ み 子 様

私たち監事は、特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会の
2023年1月1日から2023年12月31日までの事業年度の理事の業務執
行の状況および財産の状況について監査しました。

特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会より提出された

- (1) 2023年度 事業報告書
- (2) 2023年度 活動計算書
- (3) 2023年度 貸借対照表
- (4) 2023年度 財産目録

を監査した結果、法人の業務の執行に関しては法令および定款に違反する重大な
事実はなく、NPO法人会計基準に準拠して、財務諸表等に適正に表示されている
ものと認められました。

2024年 1月29日

監 事

池田幸也

監 事

内野恵美